



挨拶

理事長

高橋 力

奥州市シルバー人材センター会報第6号の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

令和4年度定時総会は、去る6月17日（金）に水沢メイプルの多目的ホールにおいて無事開催いたしました。コロナ禍のため皆様には議決権行使書の提出をお願いしておりましたが、この度、皆様からの議決権行使書と出席者により、開催することができました。

本来であれば、皆様にご出席いただきまして盛大に定時総会を開催したかったところですが、皆様には趣旨をご理解いただき、議決権行使書をご提出いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度（令和3年度）は、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、講習事業や教育訓練、奉仕活動や普及啓発活動など、当初の事業計画通りに事業を実施することができず、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

特に、刈払機の安全操作講習や庭木剪定の安全衛生教育など安全就業に関する講習が開催できなかったことが原因かわかりませんが、就業中或いは就業途上の事故が発生してしまいましたこと、誠に残念でなりません。

また、昨年8月、9月、そして本年2月に岩手緊急事態宣言により地区センター等の公共施設が臨時休館となり、公共施設の受付・管理業務、Zホール

などでのイベント時における駐車場誘導、催事の準備や片づけ等のお仕事が皆無となり、「就業機会の確保」に不安ばかりが募りましたが、会員の皆様に頑張っていただいたお陰で、実績の落ち込みは「最小限に食い止めた」と言っても過言ではありません。

令和3年度事業実績は、会員数が359人と減少傾向に歯止めがかからず、請負・委任と派遣の契約金額の合計も154,332,752円となり、前年度実績155,432,712円に僅かですが及びませんでした。

この程度の減少で済んだのも、ひとえに皆様が一生涯懸命に、そして丁寧にお仕事をされた結果が、市民の皆様様に評価された賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、昨年4月に改正高齢法が施行されてから1年が経過し、企業等における定年退職者の継続雇用が進む中、来年4月には改正国家公務員法などの施行に伴い、自治体職員の退職年齢が60歳から65歳へ段階的に引き上げられることとなり、シルバー人材センターを取り巻く環境は一段と厳しいものとなり、需要に応えるための会員の確保が課題となっています。

更には、来年10月から導入されるインボイス制度により、シルバー人材センターが納める消費税の負担が一段と大きくなり、法人運営への影響が懸念されております。

最近になって、新型コロナウイルス感染症が終息に向かいつつありますが、令和4年度こそは希望の見える年にしたく、積極的に事業を展開して参りますので、皆様には尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

巻頭写真 前沢「奥州市牛の博物館」

奥州市牛の博物館は、「牛にかかわる歴史、芸術、民族、自然科学等及び郷土に関する資料の調査、研究、収集、保管、展示等を行い、学術及び文化の発展に寄与する」ため、旧前沢町が建設し、平成7年4月に開館しました。

私たちの祖先が野生のウシをとらえ、家畜化を行ったのは今からおよそ8千年前のことで、以来、ウシと人間はともに暮らし、歴史を築いてきましたが、私たちは牛についてあまりにも知らないことがたくさんあります。

牛の博物館は、そうした知られていないウシの

世界について紹介しております。

ぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

開館：午前9時30分から午後5時まで（月曜休館）

住所：奥州市前沢字南陣場103-1

電話：0197-56-7666

入館料：一般400円 学生300円（高校生以上）

小中学生200円





祝 辞

奥州市長
倉 成 淳 様

奥州市シルバー人材センター会報第6号が発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

また、この度会員表彰された17名の皆さま方は、会員登録10年を迎えられたということで、長年にわたりシルバー人材センター発展のためにご尽力されたことに心から敬意を表します。

そして会員の皆様には、長年のご経験や豊富な知識、熟達した技能を活かし、市民の暮らしや企業活動等に不可欠なサービスを提供し、地域社会を支えて頂いており、今後もお元気でご活躍いただきますようご期待申し上げます。

さて、県内の新型コロナウイルス感染者数は、減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあり、高齢者を取り巻く労働環境は厳しい状況であります。奥州市シルバー人材センターが感染対策を講じながら就業機会の確保や生きがい対策事業に積極的に取り組まれておりますことに、深く感謝を申し上げます。

少子高齢化が急速に進む今日において、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められており、第2次奥州市総合計画後期基本計画に掲げる「地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち 奥州市」の実現のためには、活力ある高齢社会を支える地域の中核的な組織である奥州市シルバー人材センターの担う役割は一層重要になっていくものと思われます。今後とも活力ある本市の実現のためにご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、奥州市シルバー人材センター並びに会員の皆様にとって、笑顔があふれ、健やかにご活躍されますことを祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。



発刊祝辞

水沢公共職業安定所長
大 平 裕 様

奥州市シルバー人材センター会報第6号が発行されますことに、心からお祝い申し上げます。

また、役職員並びに会員の皆さまにおかれましては、就業を通じて健康維持や社会参加に寄与されているとともに、地域社会の活性化や福祉の向上に貢献いただいていることに、深く敬意を表しますとともに、日頃からハローワーク水沢の業務運営に多大なるご理解・ご協力をいただいておりますことに、紙面をお借りし感謝申し上げます。

さて、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症については、ワクチン予防接種が功を奏しているのか、新規感染者は減少傾向にあるところですが、新規感染者は後を絶ちません。

一昨年、昨年は種々の催しが中止となり、社会生活に及ぼす影響は計り知れないところであります。貴センターにおかれましても、公共施設の臨時休館が相次ぎ予定していた入会説明会が思うように開催できなかったとお聞きしております。

そうした中でも、徹底した感染防止対策を行いながら事業を着実に進められ、年度目標には到達しなかったものの、実績を確保し続けており、多くの仕事が寄せられたなどということは、会員の皆さまへの信頼の証であり、誇れるものと存じ上げます。

厚生労働省関連の話になりますが、昨年4月に改正高齢者雇用安定法が施行され、継続雇用を希望する方を70歳まで働くことについて努力義務となり、当所においては、「生涯現役支援窓口」を設置し高齢者の就職支援に努めているところであります。引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、奥州市シルバー人材センターにおかれましては、今後とも多くの高齢者の方にご入会いただきさらなる拡大を図るとともに、長年培ってこられた技術や経験にも的確に対応した就業先や新規事業の開拓など、会員皆さまのニーズに応えられる「職」の開拓に積極的に取り組んでいただき、個人個人の健康にも留意されながら、今後、益々充実・発展されることをご期待申し上げ、祝辞とさせていただきます。



祝 辞

奥州市シルバー人材センター
会員親睦会
会長 熊本 義 男

奥州市シルバー人材センター会報第6号の発刊、おめでとうございます。

高橋理事長様はじめシルバー人材センターの役職員の皆様、平素より会員親睦会事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

会員親睦会は、新型コロナウイルスや変異株のために、令和2年、令和3年と2年間、旅行部会、体育部会、文化部会の三つの部会の行事を、開催することができず、残念でなりませんでした。

令和4年度は、これから事業が始まるのですが、新型コロナウイルス感染症が早く終息を迎え、以前の暮らしが戻ってきて、会員親睦会の事業を事業計画通りに実施することができますよう願うものがあります。その際には、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

シルバー人材センターの地区の再編により、令和4年度から会員親睦会の地区選出幹事の人数が27名から17名に減少しました。

このことにより、幹事の皆様にはいろいろとご苦労をいただきますが、何とぞよろしく申し上げます。

結びに、会員親睦会の会員の皆様のご協力をお願い申し上げます、祝辞とさせていただきます。

＼ 新役員です。皆様よろしくお願いたします。＼



前列左から菅野理事、阿部理事、千田理事、高橋理事長、河東田副理事長、坂本常務理事、高橋理事、佐藤理事。後列左から及川理事、山田監事、渡部理事、田村理事、総会で議長を務めた佐々木さん。

定時総会の開催結果を報告します

去る6月17日(金)に水沢メイプル地階「多目的ホール」において、奥州市シルバー人材センター令和4年度定時総会を開催いたしました。

会員の皆様には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため出席を控えていただき、書面議決書による議決権の行使をお願いしましたところ、237通の書面議決書の提出をいただきました。

当日は、理事長、副理事長ほか理事、監事、正会員若干名が出席して開催され、姉体地区の佐々木健一さんを議長に選出して議事が進行されました。

はじめに、事務局から報告事項(1)令和4年度事業計画及び(2)令和4年度収支予算について、それぞれ報告いたしました。

続いて、議決事項に移り、第1号議案から第3号議案まで、賛成が過半数に達しており、すべて原案のとおり可決承認されました。

第1号議案 令和3年度事業報告の承認について

第2号議案 令和3年度収支決算の承認について

第3号議案 役員を選任について

総会終了後に、新しく選任された理事・監事による理事会を開催し、理事長、副理事長及び常務理事の選定を行い1面に掲載のとおりとなりました。

皆様よろしくお願いたします。

会員表彰おめでとうございます

平成25年度に入会され、就業等を通じてセンターの進展に貢献し今年で10年目を迎えられる次の17名の会員の皆様に、会員表彰状が贈られました。

本来であれば定時総会において表彰すべきところでしたが、コロナ禍のため定時総会は書面議決により議決権の行使をお願いしたことから、定時総会において表彰することができず、後日お渡しさせていただきましたことをご容赦ください。

(敬称略)

伊藤 強 (水 沢) ・ 及川 昭子 (水 沢)

小野寺義三 (水沢南) ・ 武田キミ子 (水沢南)

石川 若子 (常 盤) ・ 菊地 勝夫 (常 盤)

佐藤 政男 (常 盤) ・ 田村 猛夫 (佐倉河)

千田 文秀 (真 城) ・ 千葉 祝二 (真 城)

高橋 政志 (姉 体) ・ 高橋 次男 (羽 田)

村上 壯 (小 山) ・ 熊本 義男 (衣 川)

ほか全17名

地区長、連絡員を紹介します

区内の会員の減少に伴い、従来の地区・地域班組織を改め、本年4月から地区組織制度に移行し、地区の統合を行うと共に、班長を改め連絡員を設けました。

地区長さん、連絡員さんの負担を軽減するため、地区長さんにお問い合わせの事項は、①地区懇談会の開催と出席者の取りまとめ、②ボランティア活動の参加者の取りまとめ、③新たな試みとして、新入会員と地区長さん達との顔合わせ会の実施等とさせていただきます。

4月1日付けで委嘱した地区長及び連絡員は、次のとおりです。よろしくお願いたします。

| 区分 | 氏名 | 区分 | 氏名 |
|---------------|---------|--------------------|---------|
| 水 沢 | | 江刺愛宕 | |
| 地区長 | 小野寺 正 | 地区長 | 菊 池 孝 士 |
| 連絡員 | 伊 藤 強 | 連絡員 | 小 沢 政 則 |
| 連絡員 | 佐々木 正之 | 田原・藤里・伊手 | |
| 水沢南 | | 地区長 | 山 崎 裕 司 |
| 地区長 | 小野寺 義三 | 連絡員 | 新 田 祐 進 |
| 連絡員 | 千 葉 良 春 | 連絡員 | 紺 野 敏 之 |
| 連絡員 | 高 橋 順 一 | 米里・玉里・梁川・広瀬 | |
| 常 盤 | | 地区長 | 安 部 洋 |
| 地区長 | 三 浦 幸 夫 | 連絡員 | 菅 野 博 子 |
| 連絡員 | 岩 渕 芳 昭 | 前沢・生母 | |
| 連絡員 | 千 葉 勝 介 | 地区長 | 鈴 木 政 範 |
| 佐倉河 | | 連絡員 | 鈴 木 ミサヲ |
| 地区長 | 田 村 猛 夫 | 連絡員 | 佐 藤 晴 |
| 連絡員 | 佐 藤 清 美 | 古城・白山 | |
| 真 城 | | 地区長 | 長 堀 鐵 男 |
| 地区長 | 千 田 文 秀 | 連絡員 | 鈴 木 則 夫 |
| 連絡員 | 佐 藤 房 志 | 連絡員 | 佐 藤 とし子 |
| 姉体・黒石 | | 小 山 | |
| 地区長 | 佐々木 健一 | 地区長 | 小野寺 秀夫 |
| 連絡員 | 小石川 洋 | 連絡員 | 遠 藤 カオル |
| 連絡員 | 千 葉 一 枝 | 南都田 | |
| 羽 田 | | 地区長 | 菅 原 由 男 |
| 地区長 | 千 田 侑 一 | 若 柳 | |
| 岩谷堂・稲瀬 | | 地区長 | 佐々木 興市 |
| 地区長 | 菊 地 覚 | 衣 川 | |
| 連絡員 | 菊 池 良 一 | 地区長 | 高 橋 吉 郎 |
| 連絡員 | 八重樫 久 | 合 計 | 17地区 |

血圧測定のお知らせ

会員の皆様の日頃の健康管理に役立てていただくため、偶数月の月初めの日に血圧測定を実施しております。

今後の日程は次のとおりです。

皆様のお越しをお待ちしております。

日時：8月1日（月） } 午前10時00分から
10月3日（月） } 午後3時00分まで

場所：奥州市シルバー人材センター

予約不要で、費用もかかりません。お気軽にお越しください。

就業相談のお知らせ

就業に関する様々な相談に対応するため、就業相談を実施しております。

就業についてご相談のある方は、ぜひお越しください。

日時：7月28日（木） } 午後1時30分から
8月26日（金） } 3時00分まで

場所：奥州市シルバー人材センター

就業現場訪問

6月半ばの、初夏の陽射しの心地よい日に、水沢佐倉河仙人の胆江地区広域交流センターへ、草取り作業現場にお邪魔して来ました。女性会員の皆さんが、元気に作業されていました。



7月初めの午前中から30度を超える暑い日に、水沢天文台通りの個人宅の剪定作業現場にお邪魔して来ました。猛暑の中、安全保護具を着用し頑張っておられました。



令和3年度事業実績

1. 会員数、受注件数、就業延べ人員、契約金額

| 項目 | 令和3年度 | 令和2年度 | 対前年度比 |
|---------|--------------|--------------|--------|
| 会員数 総数 | 359人 | 387人 | 92.8% |
| 入会者数 | 42人 | 54人 | 77.8% |
| 退会者数 | 70人 | 74人 | 94.6% |
| 請負 受注件数 | 3,114件 | 3,283件 | 94.9% |
| 就業延日人員 | 23,306人日 | 24,627人日 | 94.6% |
| 契約金額 | 140,958,186円 | 143,994,735円 | 97.9% |
| 派遣 受注件数 | 66件 | 61件 | 108.2% |
| 就業延日人員 | 2,217人日 | 2,072人日 | 107.0% |
| 契約金額 | 13,374,566円 | 11,437,977円 | 116.9% |
| 合計 受注件数 | 3,180件 | 3,344件 | 95.1% |
| 就業延日人員 | 25,523人日 | 26,749人日 | 95.4% |
| 契約金額 | 154,332,752円 | 155,432,712円 | 99.3% |

2. 地区別会員数

【水沢】

| 地区名 | 水沢 | 南 | 常盤 | 佐倉河 | 真城 | 姉体・黒石 | 羽田 | 水沢計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|
| 会員数 | 28人 | 32人 | 39人 | 14人 | 19人 | 23人 | 13人 | 168人 |

【江刺】

| 地区名 | 岩谷堂・稲瀬 | 愛宕 | 田原・藤里・伊手 | 米里・玉里・梁川・広瀬 | 江刺計 |
|-----|--------|-----|----------|-------------|-----|
| 会員数 | 34人 | 18人 | 26人 | 15人 | 93人 |

【前沢】

| 地区名 | 前沢 | 古城・白山 | 生母 | 前沢計 |
|-----|-----|-------|----|-----|
| 会員数 | 13人 | 23人 | 5人 | 41人 |

【胆沢】

| 地区名 | 小山 | 南都田 | 若柳 | 胆沢計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 会員数 | 24人 | 12人 | 15人 | 51人 |

【衣川】

| 地区名 | 衣川 | 衣川計 |
|-----|----|-----|
| 会員数 | 6人 | 6人 |

3. 年齢階層別、男女別会員数、就業実人員、就業率

(単位：人)

| | 60~64歳 | | 65~69歳 | | 70~74歳 | | 75~79歳 | | 80歳以上 | | 合計 | | |
|----------|--------|---|--------|----|--------|----|--------|----|-------|----|-------|-----|-----|
| 会員数(人) | 11 | 4 | 45 | 24 | 73 | 39 | 48 | 43 | 45 | 27 | 222 | 137 | 359 |
| 就業実人員(人) | 10 | 4 | 33 | 18 | 61 | 34 | 42 | 37 | 39 | 25 | 185 | 119 | 304 |
| 就業率(%) | 93.3% | | 73.9% | | 84.8% | | 86.8% | | 88.9% | | 84.7% | | |

4. 退会者の退会理由(男女別)

| | 病気 | 就職 | 死亡 | 転居 | 仕事なし | 家庭事情 | 会費未納 | 加齢 | その他 | 合計 |
|-------|-----|-----|----|----|------|------|------|-----|-----|-----|
| 男性(人) | 15人 | 8人 | 3人 | 0人 | 3人 | 1人 | 1人 | 10人 | 3人 | 44人 |
| 女性(人) | 8人 | 2人 | 1人 | 0人 | 2人 | 4人 | 1人 | 8人 | 0人 | 26人 |
| 合計(人) | 23人 | 10人 | 4人 | 0人 | 5人 | 5人 | 2人 | 18人 | 3人 | 70人 |

5. 年齢階層別、男女別、入会動機別会員数

(単位：人)

| | 60～64歳 | | 65～69歳 | | 70～74歳 | | 75～79歳 | | 80歳以上 | | 合計 | | |
|-----------|--------|---|--------|----|--------|----|--------|----|-------|----|-----|-----|-----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 生きがい・社会参加 | 3 | 1 | 10 | 6 | 23 | 10 | 11 | 12 | 11 | 11 | 58 | 40 | 98 |
| 仲間作り | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 6 | 2 | 1 | 7 | 10 | 17 |
| 時間的余裕 | 2 | 0 | 8 | 5 | 18 | 7 | 8 | 5 | 0 | 1 | 36 | 18 | 54 |
| 健康維持・増進 | 1 | 2 | 12 | 4 | 14 | 9 | 19 | 9 | 19 | 4 | 65 | 28 | 93 |
| 経済的理由 | 5 | 1 | 14 | 7 | 12 | 12 | 8 | 9 | 11 | 10 | 50 | 39 | 89 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 6 | 2 | 8 |
| 小計 | 11 | 4 | 45 | 24 | 73 | 39 | 48 | 43 | 45 | 27 | 222 | 137 | 359 |
| 合計 | 15 | | 69 | | 112 | | 91 | | 72 | | 359 | | |

6. 全会員の平均年齢、最高年齢

| 会員の平均年齢 | | |
|---------|-------|-------|
| 男性 | 女性 | 全体 |
| 74.5歳 | 74.7歳 | 74.6歳 |

| 会員の最高年齢 | |
|---------|-----|
| 男性 | 女性 |
| 90歳 | 87歳 |



7. 新入会員の平均年齢、最高年齢

| 新入会員の平均年齢 | | |
|-----------|-------|-------|
| 男性 | 女性 | 全体 |
| 68.5歳 | 70.5歳 | 69.3歳 |

| 新入会員の最高年齢 | |
|-----------|-----|
| 男性 | 女性 |
| 78歳 | 80歳 |



8. 退会会員の平均年齢、最高年齢

| 退会会員の平均年齢 | | |
|-----------|-------|-------|
| 男性 | 女性 | 全体 |
| 77.5歳 | 73.9歳 | 76.2歳 |

| 退会会員の最高年齢 | |
|-----------|-----|
| 男性 | 女性 |
| 92歳 | 86歳 |

9. 請負、委任契約の公共・民間別実績

| 区分 | 就業延日人員 | 配分金 | 材料費等 | 事務費 | 合計 |
|-------|----------|--------------|------------|-------------|--------------|
| 公共 | 5,077人日 | 25,804,011円 | 500,137円 | 6,189,311円 | 32,493,459円 |
| 民間 | 18,229人日 | 87,415,296円 | 4,623,753円 | 16,425,678円 | 108,464,727円 |
| 一般企業等 | 8,256人日 | 34,580,804円 | 657,482円 | 6,420,824円 | 41,659,110円 |
| 個人・家庭 | 9,973人日 | 52,834,492円 | 3,966,271円 | 10,004,854円 | 66,805,617円 |
| 合計 | 23,306人日 | 113,219,307円 | 5,123,890円 | 22,614,989円 | 140,958,186円 |

10. 派遣契約の公共・民間別実績

| 区分 | 就業延日人員 | 賃金 | 手数料等 | 合計 |
|----|---------|------------|------------|-------------|
| 公共 | 172人日 | 822,720円 | 311,026円 | 1,133,746円 |
| 民間 | 2,045人日 | 9,175,826円 | 3,064,984円 | 12,240,820円 |
| 合計 | 2,217人日 | 9,998,556円 | 3,376,010円 | 13,374,566円 |

7月は安全・適正就業強化月間です！

全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）では、毎年7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、全国に約1,300あるシルバー人材センターが、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の展開を図ることを目的として、一斉に取り組みます。

皆様も、安全は決して他人事と思わず、日頃から健康管理に努められ、安全就業の徹底を図られますようお願いいたします。

強化月間の初日となる7月1日（金）は、例年通り水沢の庭木剪定班の皆さんを対象に朝7時45分から「出発式」を行いました。

はじめに田村猛夫安全・適正委員会委員長より、続いて高橋理事長よりそれぞれ訓示があり、その後、皆さんで安全心得十カ条を唱和しました。



安全心得十カ条

- 一 作業は、安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしないこと
- 二 器具類は、使用する前に必ず点検すること
- 三 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにする
- 四 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと
- 五 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと
- 六 作業現場では、常に整理整頓を心がけること
- 七 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと
- 八 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること
- 九 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること
- 十 仕事の前日は、十分睡眠をとるよう心掛けること

安全就業標語 入賞作品が決まりました

令和4年度安全就業標語コンクールを実施しましたところ、例年より多い18人の会員の皆様から44作品の応募があり、安全・適正就業委員会（委員長 田村猛夫）において委員による投票を行い選考した結果、入賞作品が次のとおり決まりました。

入賞作品は、今後1年間、皆様の安全就業の推進に使用させていただきます。

令和4年度安全就業標語 コンクール入賞作品

（敬称略）

【最優秀賞】1点

「安全に 仲間とともに 良い仕事」
衣 川・高橋 吉郎

【優秀賞】2点

「慣れすぎて 緩んだすきに 事故まねく」
古 城・佐藤とし子
「安全に 見送る妻との 愛言葉」
小 山・村上 善晴

【佳作】3点

「危険だよ 慣れたと思う そのころ」
古 城・千田 文子
「ぜったいと 自己満足が 事故のもと」
藤 里・新田 祐進
「無災害 日々の意識の 積み重ね」
南都田・小野寺光子

編 集 後 記

この度、会報第6号を発刊いたしました。昨年、一昨年と2年にわたりコロナ禍で行事の殆どが中止となり、今回も内容が乏しいものとなってしまいました。

6月下旬あたりから感染者数が減ってきており、ワクチン接種も60歳以上の方の4回目の接種が一段落すれば、コロナも終息の兆しが見えてくるものと思われます。

次号からは就業状況、会員の声、お客様の声など、内容も多岐にわたって掲載したいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

会員の皆様、これをお読みいただいた関係各位の皆様からのご寄稿又はご意見、ご要望及びご情報をお待ちしております。

次号は、令和5年1月発刊の予定です。（K.S）